



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)えんじゅ西野 新築工事	階数	3
建設地	札幌市西区西野2条2丁目25-2,-3,42-2	構造	RC造
用途地域	近隣商業+第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	61 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2021年9月 予定	評価の段階	
敷地面積	1,583 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2020年7月15日
建築面積	723 m <sup>2</sup>	作成者	
延床面積	2,060 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月25日
		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆ **B-**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 93%

③上記②以外のオンサイト手法 93%

④上記オフサイト手法 93%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEE][BEIm]= **0.92**

### 2-5 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.4**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.4

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.6**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.0

### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> R-コストでありながら、省エネルギーに配慮した老人施設を目指す。	<b>A 省エネルギー</b> 省エネルギー機器を採用する。
<b>B 省資源等</b> 特に無し	<b>C 緑化</b> 特に無し。
	<b>D 雪処理</b> 除排雪がスムーズに作業できるように配慮した。

### 4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)

(仮称)元んじゅ西野 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体-共用部分		住居-宿泊部分		全体
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>							<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>				0.40		-	<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>			<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1.2 遮音			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20	
1.3 吸音			<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>			<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
2.1 室温制御			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	省エネ		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御			<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>			<b>2.2</b>	0.25	<b>2.5</b>	1.00	<b>2.2</b>
3.1 昼光利用			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光率			3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口				-		-	
3 昼光利用設備	省エネ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光制御	省エネ		2.0	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
2 映り込み対策				-		-	
3.3 照度			<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御			<b>1.0</b>	0.25	<b>1.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>			<b>3.4</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.2</b>
4.1 発生源対策			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質			3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			<b>5.0</b>	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-		-	
2 喫煙の制御		全館:禁煙とする。	5.0	1.00		-	

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.8
<b>1 機能性</b>			<b>2.8</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00	<b>3.3</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1	広さ・収納性	個室:22.68㎡、多床室:12.04㎡/床		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応			-		-	
3	バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)	CH=2500mm 以上		-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-		-	
3	内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>			<b>2.5</b>	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>2.8</b>	0.30		-	<b>2.8</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.4</b>	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.3</b>	0.30	<b>1.9</b>	1.00	2.1
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>1.8</b>	0.30	<b>1.8</b>	0.50	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>2.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	1.4
<b>1 生物環境の保全と創出</b>	緑化		1.0	0.30		-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	緑化		2.0	0.40		-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			1.0	0.30		-	1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		1.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		1.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-		-	2.6
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	2.9
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	省エネ	BPI <sub>m</sub> =0.72	5.0	0.20		-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>	省エネ		3.0	0.10		-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>	省エネ	[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.92 -	2.4	0.50		-	2.4
<b>4 効率的運用</b>			2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	省エネ		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	省エネ			-		-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	2.9
<b>1 水資源保護</b>			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			2.8	0.60		-	2.8
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.22		-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			-	-	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		-	-	-	-	
3 冷媒	省資源		-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	省資源	省エネの機種等の選定	<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>1.6</b>	0.33	-	-	<b>1.6</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>	省資源		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>	省資源 熱化 蓄熱処理		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>1.6</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理		1.0	0.33	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>1.2</b>	0.33	-	-	<b>1.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>1.0</b>	0.67	-	-	
1 風害の抑制			1.0	1.00	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			-	-	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.6	BEEランク	B <sup>-</sup>
建物名称	(仮称)えんじゅ西野 新築工事				
建物用途	病院.				
延床面積	2,060.2 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★☆☆☆	
	雪処理	★☆☆☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア							
A 省エネルギー ( 最高点 23.1 最低点 6.6 )				合計		13.2点 /23.1点	
Q1 温熱環境	スコア	0.6	/1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0	/4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.0	/2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2	/2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	4.8	/10.0
				LR1 効率的運用	スコア	1.6	/4.0
B 省資源等 ( 最高点 21.6 最低点 6.9 )				合計		10.8点 /21.6点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6	/1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.2	/9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	/2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	0.0	/0.0
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.2	/5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	1.3	/4.2
C 緑化 ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )				合計		4.3点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	/4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5	/2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4	/6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	/2.3				
D 雪処理 ( 最高点 3.0 最低点 0 )				合計		0.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	/1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	/2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数